

令和4年度第1回住吉区区政会議での意見等一覧

【当日出された意見等】

報告事項

- ・令和3年度第3回住吉区防災専門会議について

	委員名	意見等の内容	回答
①	梶野委員	・防災訓練の日程が土曜日でない調整が難しいとのことだが、第2土曜日に関して、例えば第1土曜日や第3土曜日に変更することも難しいのか。	〔地域課〕 ・基本的には、小中学校の土曜授業との連携のため土曜日としています。なお、第2土曜日である理由としましては、地域のイベントが第1、第3土曜日に多くあり、第2土曜日にありましたイベントを第1、第3土曜日に変更していただいたことや、11月の第2土曜日に日程を定着してほしいというご意見が多くあったためとなります。 ・今後、皆様へのアンケートにより調整させていただきます。
②	東委員	・目線がすごく大きな防災に向かっていて、区全体であったり、台風や水害のように予想できる災害についての対応はすごく深められてきていると思うが、例えば部分的に停電が起きたり、ちょっと大きな火事があった際の対応がまだまだ手薄というか、逆にそういう小さな対応がうまくできない状況で、大規模災害が起きたときにどうなるんだろうかという不安を少し感じた。そういった小さな災害にも目を向けてプランを立ててほしいと思う。	〔地域課〕 ・火災発生の際は、消防から連絡を受けて、防災担当が現地へ駆けつけ、地域の方々へ避難所として会館を開設してほしいという旨の連絡をしています。また、被災者が避難生活を送るに当たって、必要な物資や水なども防災担当から配備させていただいています。 地域の方々も非常に協力的に、会長、女性部長を中心に動いていただいております。そういった小さいところの部分が大規模なものにつながっていくと思いますので、各地域や町会とも連携が取れるように努めてまいります。

- ・令和3年度第3回住吉区総合教育会議について

	委員名	意見等の内容	回答
①	谷山委員	・しんどい子どもを支えている先生を支える仕組みというものがあるのかどうか分からないが、先生を支える仕組みをもっとしていかないといけないと感じているので、先生も支えてあげてほしいと思う。	〔教育文化課〕 ・教職員が非常に業務繁忙ということも言われています。また、非常に若い教職員が多くなっており、なかなか気づいていただけないということが、保護者からも見えることがあります。そのため、先生方にまず気づいていただき、スクールソーシャルワーカーなどの専門職にも頼って連携する仕組みがあることを理解するための研修をスクールソーシャルワーカー自身ができる学校もありますので、それを広げていきたいと考えています。
②	島谷委員	・会議要旨の「5 議論のポイント」の(2)で、「地域資源との連携」とあるが、具体的に「地域資源」というのはどのようなものを指すのか。	〔教育文化課〕 ・地域資源は、地域で子どもを見守っていただけるたくさんの方を指すものと思っております。地域でいろいろな活動をしていただいている専門職の方や、地域の中で役割を持って地域活動をされている方々も指します。保護者や子ども食堂も地域資源です。

協議事項

・令和3年度住吉区運営方針の振り返りについて

	委員名	意見等の内容
①	山本委員	<p>・経営課題3「安心して子育てができ地域の实情にあった教育が展開されるまちづくり」の3-1-4のプロセス指標「不登校やひきこもりで悩む子ども・若者の相談受付件数」について、本来なら、このような相談はない方が良いのだが、指標設定するとなると、どうしても目標何件以上となるので目標設定の難しいところだと思う。いわゆるサードスペースみたいな学校と家以外の場所があれば、すごく子どもの助けになると思う。そのような多様性のところを許容でき、内包しているまちが素敵だと思うので、そのような指標も含めて考えてもらえれば安心して過ごせるかなと思う。</p>
②	辻野委員	<p>・目標設定のところはすごく気になっており、達成できなかったときに、その目標設定が妥当かどうかということも気になるところである。高過ぎる目標が日本社会ではよく設定される場所であり、例えば1-1-2地域防災力の向上で、プロセス指標「ここ1、2年お住まいの地域の防災力が向上したと感じる区民の割合」は、向上というのは右肩上がりになるが、高止まりということは当然あるわけで、右肩上がりになり続けることはあり得ない。そのため、防災力が備わっていると感じる割合や地域の防災力の状態を調べたいのであれば、そのための質問をしたり、そういうことも検討した方が、無理な目標設定をして、結果が出なくて、無理な対策を立ててということもあり得るので、ポイントを絞ると良いのではと思う。</p>
③	桶土井委員	<p>・コロナ感染対策もあるかもしれないが、社会全体でも、外ではほぼ感染がないと言われていても、1人で歩いている人でもマスクをしている状況があることで、子どもたちがマスクを外せない状況になっていると思う。できればこういうところでマスクを外せるといった環境をつくってほしいと思う。子どもが顔を出せないという気持ちになっているのがすごく問題だと思うし、これからの子どもの発育に関してすごく心配している。特に低学年や未就学児の子どもは、相手の顔を見ながら感情を読み取ったりすることで成長していくので、そういう部分がないのがすごく不安に感じる。</p> <p>・学校の公務員や教職員は、飲酒を伴う会食は基本的にできない状況らしいが、先生がいろいろ相談したくても、学校の中ではなかなかできない状況なので、学校を離れたところで先輩の先生や管理職の先生と悩み相談などができる場だと思うため、公務員の会食制限を取ってほしいと思う。</p>
④	鍛冶本委員	<p>・防災訓練時に高齢者がどうしても集うことができなくて、私たちには関係がないから、行けないからということで、訓練の参加がなかなかできない状況である。参加することだけに意義があるとは思わないが、何かあったときに高齢者を安全に見守っていくことをどうしたらいいかとなると、高齢者にどのように意識してもらうかが課題であるため、区としても防災訓練に当たって、高齢者への訓練の仕方を考えてほしいと思う。</p> <p>・今年の敬老会で防災訓練ができないかと考えていたが、敬老会自体がたくさんの人数が来られるということで、まだ集えない状況にある。今またどのような形で皆様に伝えたらいいかということで自分の中で思案している。</p> <p>・コロナ禍で様々な行事が停止していたことから、ストレスがたまっているとか、行事が少ないので町会に入っているけど仕方がないからと町会から離れていく方など、様々な課題が現場ではある。そういう中で、コロナ禍であっても何をしたいのか、心の体力をどうつけていくのかということ課題としてしっかりと取り上げながら進めてほしいと感じる。</p> <p>・学校では、ソーシャルワーカーも入っていただきスムーズにしている部分もあるが、じっとしてられない子どもたちは、すぐ病院に行ってみたらどうですかというような意見が出る。病院へ行くイコール、ちょっとお薬を飲んで安定させてということにつながりがちなことも気になっている。もっと子どもたちの声を聞いてあげる、そういう大人の教育を進めていけないのかなと、それは教職員だけではなくて、周りを取り巻く大人へ子どもと接する教育的な知識を学べる場を設けてもらえればと感じている。</p>

・これからの区政会議で取り上げていきたいテーマについて

	委員名	意見等の内容
①	佐藤委員	・私が今一番問題にしているのは町会離れということなので、その辺を皆さんにご検討いただけたらと思う。
②	田中委員	・JR阪和線地上部分の跡地に「風かおる“みち”」（都市計画道路天王寺大和川線）を造るということで、長年ずっとやってきた。長居周辺からだんだんできているが、自転車置場ぐらいにしかなくてほしいと思う。非常時の道も必要であるし、もう少し緑のある場所が必要だと思う。 ・区役所の照明器具などが壊れたままであるため、夜に不良のたまり場になるのでは。
③	佃井委員	・防災では、小学校が避難所になっているが、どれだけの人かどんな形で住んでいるか分からず、高齢者や寝たきりの人が把握できていないことが気になっている。
④	中野委員	・区老連では、今までコロナの影響で中止していたものがあったが、できるだけ中止をしないで、いろんな対策を練りながら活動を実施してきた。高齢者になり1人で家にじっと籠っていると、どうしても気力が落ちてしまい、何か事故があっても分からない。そういう人たちにできるだけ出てきてもらって、活性化してもらうことから、できるだけ実施しようとしてきた。 ・JR阪和貨物線の跡地が草の生えた状態でそのままずっと放置している。ここを何かうまく利用する方法がないか常に気になっており、以前に市大の学生も調査されたことがあるようなので、区として何か考えてほしい。
⑤	浜田委員	・自転車がとても危険だということを感じおり、自転車が左側通行であることについて、車を運転する方はそういう交通ルールを勉強しているが、そうでない方はなかなか分からないため、パトロール中にアナウンスしてもらえれば、自転車に乗っているときに気がつくという感じになると思うので、アピールしたほうが良いと思う。 ・「広報すみよし」は、地域別に取り組んでいる内容を載せるようにすれば、区民がそれぞれの地域で頑張っていることを刺激し合える雰囲気になると思う。また、一面に大きな写真を載せられると、何か記事を載せるのを写真でごまかしているような印象を受ける。さらに「すみよし」のタイトルをもう少し小さくして、広報紙をもっと中身の濃いものにしてほしい。
⑥	福留委員	・プロセス指標は一体何を基にしているのかと思う。その中でも、特に3-1-3「貧困の連鎖を断ち切る取組」は、指標が出席率になっているのがすごくもったいないと思う。ネグレクトのこどもたちが学習支援にはきっと来ていないと思うので、学べなかったこどものサポートはどのような形で表せるのか、コロナ禍の2年間学ばなかったこどもが学習支援がなくて、学ぶ機会を失ったのであれば、どういうサポートをすれば良いのかということも考えていかないといけないと思う。 ・私自身スクールソーシャルワーカーの取組の具体的な内容を知らなかったことを踏まえると、現場の人の声をどのように区民に届けるかということも議論できたら良いと思う。また中学生や高校生に来てもらい、話し合いもできたら良いと思う。不登校のこどもたちを参加させるということだけではなく、そのこどもたちがどうやって今後生きていくかということを見つけられるような、多様性というものがあれば良いと思う。

⑦	南委員	<p>・子ども会では、こどもの数が減ってきて、子ども会への参加者も減っているという状況である。その中で、こどもが入りたくても、親が入らせないということが増えてきている。環境が変わってきており、町会離れなどの話も出ていたが、子ども会の在り方が都市型になってきて、親たちの意識や横のつながりなど、いろいろと希薄になってきているのも要因という話も出ている。こどもや若い親たちに対する意識付けのためにも、何かいろいろな集まりごとに参加してもらうようにできればと考えている。</p>
⑧	渡邊委員	<p>・各地域では、多くの活動をされているが、地域活動協議会の事業というのを知らない方もいるため、地域の活動に関して皆様からの御意見をいただきたいと思う。</p>
⑨	榊野委員	<p>・住吉は本当に歴史・文化資産の多いところで、万葉の昔から一貫して文化資産のあるところである。それを区民にどうこうという前に、区役所の職員にもっと知ってほしい。協力するので、知る努力をする機会をできるだけつくってほしい。また、歴史案内人の会で十数年活動しており、地域の文化資産の紹介という点で協力できるので、何か積極的な施策を考えてほしいと思う。</p>
⑩	山本委員	<p>・区政会議委員はいろいろな背景を持たれている方がいるので、住吉の兆しというか、これからどんどんよくなるだろうな、住んでいてよかったなというようなポイントがいっぱいあると思うので、皆さんがどう思われているのかを聞きたい。</p> <p>・まちづくりに関わるインフラ会社、Osaka Metro、南海などを呼んで話が聞けるのなら、1度聞いてみたい。</p>